

京 築

折尾 北九州
 筑豊 総本部
 行橋 中津
 豊前 西部本社

久留米

北九州

北九州総本部

〒802-8571 北九州市小倉北区
 米町2-2-1 新小倉ビル4階
 ☎093-531-2065 Fax 531-2414
 s-syaka2@yomiuri.com

行橋通信部

0930-22-1254 Fax 22-1381

豊前通信部

0979-82-4747 Fax 82-7242

折尾通信部

093-693-1750 Fax 693-1751

中津支局 ☎0979-22-2948

購読は **YC** **0120-4343-81**

読売会 0947-44-0582

Fax 46-1928

【広 告】093-551-0285

【折り込み】093-921-5606

【旅行】読売旅行九州予約センター 093-521-5511



▲ 田植えをする児童たち

みやこ町立黒田小5年の約30人が、同町勝山黒田の水田で田植えを体験した。食べ物を大切にする心を育んでもらおうと、同小では学校近くの田んぼを地元の農家から借りて、昔ながらの田植えや稲刈りを体験する授業を行っている。

児童たちは1日、農家の人たちから指導を受けた後に田植えに挑戦。ぬかるみに足をとられながらも横一列に並び、苗を3、5本ずつつまんで植えていった。

林田倫多郎君(11)は「泥の中は気持ち良かった。日本一おいしい米に育ってほしい」と話していた。

軽トラ活用的小型キャンピングカー
 みやこで展示
 軽トラックを活用した小型のキャンピングカーを展示するイベントが2日、みやこ町豊津の自動車販売店で開かれた。

軽トラックのキャンピングカーは、一般的なキャンピングカーよりも値段が手頃で維持費も安いことなど



展示された軽トラックのキャンピングカー

から人気が高まっている。展示されたのは、軽トラ

ックの荷台に、取り外しが可能な居住スペース(幅約1.33m、高さ約1.8m、長さ約3.5m)を載せるタイプ。室内はテーブルやシートなどを設置することができ、ベッドを展開すれば、大人が横になれる広さを確保できる。

イベントは3日も開催。午前9時〜午後6時。問い合わせはUMC内山自動車(0930・33・4236)へ。



ハナショウブの散策路

9、10日みやこでまつり

みやこ町の豊津花菖蒲公園で、白や紫の花を咲かせたハナショウブが見頃を迎え一写真一、見物客でにぎわっている。9、10日の午前10時〜午後4時には「花しょうぶまつり」があり、ステージイベントなどが楽しめる。

約4000平方メートルの園内には、約30

品種3000株のハナショウブがされており、散策路(長さ約1km)から間近で観賞できる。5月下旬から開花し、6月で楽しめるという。

好天となった2日は町内々大勢の人が訪れ、散策路を歩ながら花の写真を撮ったり、眺めしていた。北九州市小倉南区池本松若さん(70)は「手入れがきちんとしており、きれいに咲いて楽しめた」と話していた。

軽トラ荷台に「ハウス」

キャンプ向け 災害避難にも

軽トラックの荷台に載せるだけでキャンピングカーに早変わりする「トラベルハウス（旅する家）」。みやこ町豊津の自動車販売会社「UMC内山自動車」がディーラーとして取り扱いを始めた。レジャーのほか災害時の避難所としての活用も提案する。

みやこの会社、販売

トラベルハウスは横から見るとL字形で、長さ約3.5メートル、幅約1.3メートル、荷台に積んだ状態で地上からの高さが約2.5メートル。重さは木

造が約250キロ、アルミ製の約150キロだ。道路交通法などの制限内に収まり、室内は2段ベッドを設置すれば大人4人まで寝ることが

できる。

関西の建築会社と住宅機器卸売会社が製品化し、2017年3月の販売開始から約200台が売れたという。内山自動車社長の内山淳さん（42）は昨春、神戸市で偶然トラベルハウスを見

かけた。ディーラー募集を知って申し込み、5月から販売を始めた。

値段は78万円（税抜き）

から。オプションで電源供給システムや2段ベッド、軽トラのエアコンからの吹き出しを取り込む窓などを取り付けるケースが多く、130万円ほどになるが、一般のキャンピングカーに比べると手頃だ。

取り外しができ、着脱時間は慣れれば20分ほど。

「平日は軽トラとして使い、休日はハウスを取り付けて気軽に旅行するなど定年後の方も含めワクワク、ドキドキ感を味わってほしい」と内山さん。

移動販売や移動マッサー

ジ、移動事務所にも使える。内山さんは「トラベルハウスは住宅設計で用途が

広く、着脱もでき、低価格なのが特長。熊本地震などでは、被災者の車中泊によ

るエコノミークラス症候群が問題になった。災害など

非常時の防災シェルターとしての利用も期待される」と話す。

2、3日に展示会を開いたところ30〜40組がトラベルハウス目当てに訪れるな

り、移動販売や移動マッサージ、移動事務所にも使える。内山さんは「トラベルハウスは住宅設計で用途が

上毛町PRパンフ、福岡都市圏に

タウン情報誌にまず1万5千部

上毛町が、町のPRパンフレットとして昨年度作成した「こうげの師」1万5千部を福岡都市圏のタウン情報誌「シティ情報ふくおか」6月号（390円）に、特別付録として挟み込んだ。

こうげの師は全面カラーでB5判30ページ。観光名所や特産品の

紹介だけでなく、神楽や農産物、ホテルなどの生き物や自然、文化、スポーツ、飲食店などをそれぞれにかかわる人たちの生活や思いとともに取り上げている。

シティ情報ふくおかが制作し、昨年度分の1万5千部は、今年3月に完成して町内などに配布した。今年度、福岡都市圏の観光客らを迎え込むため新たに2万部を増刷し、同誌の特別付録として挟み込むことを決



ど好評だったという。

トラベルハウスのディーラーは九州では内山自動車と行橋市の中古車販売会社

「轟の森ドラゴン」の2社という。内山さんは「協力

してシェアを拡大し、キャンプ場でたくさん止まっ

ている光景を見ることができれば」と期待する。問い合わせは内山自動車（093

0・33・4236）。

（久恒勇造）

アフガン灌漑で+ペシヤワール会

アフガニスタンで医療や灌漑、農業支援に取り組むNGO「ペシヤワール会」



中村哲医師